2026 年 5 月　ver.2.0

研究課題名	腸内細菌、腫瘍細菌叢が肝胆膵悪性腫瘍の発生・進展に与える影響の検討
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。 ヒト腸内には数 100 兆個もの細菌が存在していますが、近年、腸内細菌叢が炎症性腸疾患や生活習慣病だけでなく，発癌や腫瘍免疫にも影響する可能性を示唆する研究が相次いで報告され注目を集めています。本研究では、肝胆膵癌患者様の腸内細菌叢の特徴と、外科手術後および再発時の変化を調査し、腸内細菌や腫瘍に含まれる細菌が発癌や腫瘍免疫に及ぼす影響を調査します。今回、それらを調べることで、発病の予測や予防、治療に役立つと考えております。これらの関連を明らかにする目的で，登録された患者さんの診療記録や検査データなどを使用させていただきたいと思います.
研究を行う期間	研究期間は機関の長の実施許可後から 2029 年 12 月までの予定としています。
研究協力をお願いしたい方（対象者）	大阪公立大学医学研究等倫理審査委員会で既に承認を得た研究（承認番号：3722）に参加されている方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた研究（「慢性肝疾患と腸内細菌叢との関連を探索する研究」承認番号３７２２）でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、画像検査、糞便情報】
試料・情報の他機関への提供	本研究は大阪大学微生物病研究所および筑波大学と共同研究を行いますが、あなたの情報はすでに大阪公立大学医学研究等倫理審査委員会で既に承認を得た研究（承認番号：3722）で解析済みであるため、他施設に新たに提供されることはありません。
この研究を行っている共同研究機関	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 石沢武彰 大阪大学　微生物病研究所　遺伝子生物学分野 原英二 筑波大学　生命環境系 中村顕 理化学研究所 生命機能科学研究センター 超微形態研究チーム 荒川聡子
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 研究代表者：石沢　武彰
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は，下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否することができます．また，研究への参加を断っても診療に関する不利益等を受けることはありません.
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科　肝胆膵外科学

	担当者氏名　田中　涼太 電話番号：（06）6645-3841